

令和6年12月定例会

五島市教育委員会会議録

令和6年12月23日

五島市教育委員会

令和6年12月定例会会議録

1 日 時 令和6年12月23日（月） 午後2時～午後3時37分

2 場 所 市役所3階第3委員会室

3 出席者 教育委員 川 端 一
教育委員 道 下 和 之
教育委員 大 島 眞由美
教育委員 門 原 さおり
教 育 長 村 上 富 憲

4 欠席委員 なし

5 会議に出席した者の氏名

教 育 総 務 課 長	北 川 数 幸	学 校 教 育 課 長	塩 竈 憲 治
学校教育課長補佐	森 下 隆 司	学校教育班係長	宮 本 金 一 朗
学校教育班係長	野 口 作 実		

（合計／書記含め6名）

6 傍 聴 者 なし

7 書 記 教育総務課課長補佐 池 本 佳 孝

8 議題及び議事の概要

○ 教育長が開会を宣告する。（午後 2 時 00 分）

○ 前回会議録の承認

教育長が前回会議録の承認について議題に供し、北川教育総務課長が 11 月定例会の会議録を説明の後、各委員へ審議を諮ったが、質疑、意見もなく承認された。

○ 教育長報告

・11 月 27 日は、「福江島に残る支城網」という本を執筆者の中村真由美様から市内全小中学校等に 40 冊寄贈いただきました。

・28～29 日は、次年度の人事異動についての校長ヒアリングを行いました。教師不足が続いており、中学校では技能教科を中心に担当教員がいないなど課題があるようです。また、管理職選考試験の二次試験の結果発表があり、校長 6 人、小学校教頭 5 人の全員が合格しております。

・30 日は、人権フェスティバルが開催され、人権作文優秀賞を翁頭中学校の生徒が受賞しました。

・12 月 2 日は、定例校長会を開催し、令和の長崎スクールの推進と学力向上と題して、藤尾指導主事が講義を行いました。

・3 日は、長崎大学高鍋教授が来庁し、次年度以降の長崎大学と教育委員会の連携強化についての話がありました。

・4 日は、市議会 12 月定例会が開会されました。一般質問等の概要については後ほど事務局から報告があります。

・7 日は、五島市中学生英語スピーチコンテストが開催され、素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。年々レベルが上がっているようです。最優秀賞の受賞者は長崎で開催される県大会に出場します。

・8 日は、第 41 回愛のチャリティ歌の祭典が開催されました。

・12 日は、福江小学校男子ミニバスケットチームが来庁しました。県大会で 2 位になり九州大会に出場します。

・13 日は、第 41 回愛のチャリティ歌の祭典の収益金から寄附をいただきました。

・16 日は、五島の伝説・昔話復刻本の贈呈がありました。本の作者：松山勇氏の孫がクラウドファンディングを活用して寄附を募り、復刻させたものになります。

・19 日は、五島市奨学生審議委員会を開催し、次年度の予約募集の審議を行い、大学生 1 名、高校生 1 名の奨学生を決定しました。

○ 議案審議 なし

○ 協議事項

協議事項 1 五島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

協議事項 2 五島市外国語指導助手規則の一部改正について

協議事項 3 五島市外国語指導助手指導員規則の一部改正について

教育長

本日は、協議事項がございます。

協議事項 1「五島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について」、協議事項 2「五島市外国語指導助手規則の一部改正について」、協議事項 3「五島市外国語指導助手指導員規則の一部改正について」は関連がありますので一括して議題とします。事務局から説明をお願いします。

野口係長

学校教育課では、外国語指導助手（ALT）を 7 名、ALT 指導員を 1 名、会計年度任用職員として任用しており、その具体的な報酬額については、条例に定める範囲内の額で、それぞれ規則で規定しています。

今回、五島市が準用している一般財団法人 自治体国際化協会（クレア）が定める任用規則が改定され、令和 7 年 4 月から報酬額が引き上げられることになりました。その報酬引き上げに伴い、条例に定める上限額を引き上げるとともに規則に定める報酬についても改正が必要となったことから、今回協議事項としてご提案しております。

報酬の改正内容については、提案説明書の別表をご覧ください。就任後 1 年未満の者は 280,000 円から 335,000 円に・・・就任後 3 年以上の者は 330,000 円から 360,000 円に引き上げられます。

次に外国語指導助手指導員（ALT 指導員）についてですが、ALT 指導員は ALT より高度な知識や経験が求められるため、報酬額は ALT 就任後 3 年以上の者の額を適用しております。

また、長崎県が交付する特別免許状を有する者は、特に優れた知識と経験を有する者と認められることから 1 万 5 千円を上乗せした額となって

おります。このとき、A L T指導員の37万5千円が最も高い金額となるため、五島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例第22条に規定されている上限額を「月額34万5千円」から「月額37万5千円」に改める必要があります。

以上のことから、提案説明書の件名にある条例1つと規則2つの改正をしたいので、本日、委員の皆様の方針決定をして頂いた後、明日24日に市長、副市長に説明し、例規審査委員会にかけたあと、教育委員会定例会で議案として提出したいと考えております。

説明は以上でございます。。

教育長

ただいまの説明でご質問、ご意見はありませんか。

現在のA L T指導員は特別免許状は持っていますか。

野口係長

持っていません。

川端委員

報酬の金額は、団体（自治体国際化協会）が決めているのですか、市が決めていますか。

野口係長

市が決定しますが、団体の規定どおり決定することになります。

教育長

他にないようでしたら、この件に関しては承認いただいたものとして事務を進めてください。。

協議事項4 給付型奨学金の基準（学業成績）の見直し検討について

教育長

協議事項4「給付型奨学金の基準（学業成績）の見直し検討について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

池本補佐

給付型奨学金の制度開始時の状況、これまでの申請状況等を説明。

協議内容の説明：五島市の給付型奨学金では、申請者のうち所得基準を満たす者の中で成績上位5名を奨学生として採用している。五島市の給付型奨学金は「学業成績が特に優秀な者であって、経済的な理由により修学が困難なもの」に対して学資を給付することを趣旨としており、受給資格の1つに「学業成績が特に優秀であること」とあるが、その実態に沿っているとは言い難い状況になっている。その年の申請者の状況によって成績が低くても採用されるという状況を打開するため、学業成績

について一定の下限を定めてはどうかと考えているが、教育委員の皆さまの意見を伺いたい。

なお、先日開催した奨学生審議委員会において、次年度貸与型奨学金の予約募集の審査終了後に、審議会委員の皆さまへ同様の説明をさせていただき意見を伺いました。その中では、現在の学業基準が大学入学共通テストの結果で判断しているの、テストの一発勝負の点数ではなく、3年間の学校生活の5段階評定など3年間頑張った成績で判断するのはどうかという意見がありました。

教育長

今回、協議したいのは学業成績が特に優秀ということに一定の基準を設けるべきか、これまでどおりで良いかということについてご意見をいただければと思っております。

川端委員

確認ですが、その時の申請者の状況によって、成績が低くても認定されるという状況がどうかということで一定の基準を設けてはということ。テストだけでなく通知表などの結果を判定の基準の一つにしてはどうかという理解で良いですか。

申請者の高校が違う場合がありますか。

池本補佐

奨学金審議委員会の委員からも意見がありましたが、通知表などの成績を基準にする際は、高校やコースによって評点は必ずしも公平ではないという状況になるようです。例えば、通知書が4という評定でも五島高校と五島海陽高校とでは違うし、五島高校内でも普通科とスポーツコースでは同じ4という評定でも学力でいうと違うということになります。ですので、基準の設定が難しいと感じているところです。

川端委員

頭を整理しないと意見が言えないなと感じました。

池本補佐

課題の一つが申請者の数が少ないということもあります。周知方法としては、各高校を通して3年生全員に五島市の給付型と貸与型の奨学金のチラシを配布していることや広報誌に掲載しています。ただし、実績として申請者が一番多かった年度でも12名しかいないという状況があります。申請者が増えれば、学業成績の上位5人を選んでいくと一定の学業成績の方が選ばれていくものと考えていますので、一方で申請者を増やす取組が必要だと考えています。

川端委員

申請者が増えると、申請しても選ばれない状況になって、また申請者が減少していくことにもなりそうで加減が難しそうです。

門原委員

五島市の給付型奨学金では特に成績が優秀なとなっていますが、五島市の奨学金が最後の砦になっているのであれば要件は軽くしてやっても良いのではと思います。国の給付型はどういった方が受けられますか。

池本補佐

国の給付型は、どちらかというところを重視しているように思います。学業要件もありますが3.5以上ということで、極端にハードルが高いわけではないと思います。非課税世帯やそれに準ずる世帯を対象としていますので低所得者向けになると思います。

大島委員

認定者の数については年度間の調整とかはできないのでしょうか。

池本補佐

現在の規定が5人以内となっています。規定している人数を変えればできますが、財源のこともあるのでどこかで線引きは必要かと思います。

大島委員

学校のレベルがあると思いますので、奈留高校や五島南高校で1人ずつとか学校ごとに認定人数を設けるとかはできないでしょうか。

教育長

今の規定では、大学入学共通テストを受けないと資格がないということになるので、学校で枠を設けるとなるとその辺りも変更することになるかと思います。線引きが難しいなと感じます。

川端委員

趣旨を見ていくと、学業成績が特に優秀と経済的な理由によるものとなっています。経済的な理由の所は国も基準を示していて市も準じているようですのではっきりしているものと思います。学業成績の所が共通テストの結果だけで判断するのもどうかと思いますが線引きは難しいです。経済的な理由の所は国も支援しているので、そこに市が二重に支援することもないとは思いますが、成績だけで判断しましたというのもおかしくはないと思いますが非常に難しいです。

門原委員

大学生を対象としているので、その時点で対象者が絞られています。専門学校などに行く人もいますのでどうなのかと思います。

池本補佐

そこは財源の問題もありますので、何らか対象者を絞る必要があると思います。給付型奨学金の対象者は5名です。制度ができた時は成績を重視した形で始まっていますので、その流れで考えています。いろんな人を対象にできれば良いのですが、財源が限られていますし、給付型なので対象者を絞るような形になっています。

教育長

なかなか線引きが難しくいろいろな考え方があると思いますので、少し考えていただいて再度ご意見を聞きたいと思います。

川端委員

次の議題にも関係すると思いますが、予算に関することにもなりますので、総合教育会議で市長の考えも含めた中で検討するのも良いかと思います。やっぱり、考え方として大学だけで良いのか、普通科だけで良いのかということもあるかと思います。

○ その他

教育長

次に、その他に移ります。

今後開催を予定している総合教育会議の協議テーマについて、教育委員会としての案を持っておきたいと思っています。委員の皆様から何かあればご意見を聞きたいと考えています。

事務局から詳細について説明をお願いします。

池本補佐

（事前配布資料をもとに、過去に五島市で開催された総合教育会議の協議テーマ、県内他市の協議テーマなどを紹介する）

大島委員

市長就任の時に話していた給食施設の設備改善についてですが、以前説明を受けた現在の福江給食センターの地盤沈下は危機的な状況にあるのですか。児童生徒が減っていく中で、現在の施設を改修しながら今後も使用していくのか、新たな場所に建て替えるのかということが気になります。

北川課長

地盤沈下については、救急に建物が倒壊することはないと理解しています。築年数による老朽化などは見受けられますので大規模改修等も必要な時期にはきていると思います。ただし、一番危惧しているのは給食センターで働く人の人手不足になります。まずは、福江島の3つの給食センターを統合して人材を確保し、確実に給食を提供できる体制を整える必要があると考えています。その後、建て替えが検討できればと考えています。

大島委員

建設費の財源のことも気になります。

北川課長

給食費無償化の議論がありますが、そのことより教育員会としては施設設備の改善を優先したいと考えているところです。

教育長

給食に関係する話題はよくでてきますし、市長の公約にもなっているところもありますので、給食施設の改善と給食費無償化については協議テーマの一つとして押さえたいと思います。

他にはないでしょうか。

門原委員

部活動の地域移行について、市でも動きがあっているようですので良いかと思います。

塩竈課長

五島市でも地域クラブへの移行が段階的に進んでいます。令和7年2月から地域クラブの募集を開始します。現在、クラブ化して進めようとしている団体が陸上、バレー、野球、バスケットなどが予定されています。計画としては、まずは土日の部活動を地域クラブが担っていき、その後可能な団体は平日まで拡大していくという流れになると考えています。どれだけの地域クラブが立ち上がるかは現段階では未定です。

教育長

全国ではすでに、完全に学校の部活動をなくすと言っている自治体もあるようです。五島市では徐々にということになるだろうと思いますが、大きな流れとしては学校単位で部活動を行うことはなくなっていくのだろうと思います。

部活動の地域移行については、予算も必要になってくるようです。保護者負担だけでは進まずに、何らかの支援が必要な場面がでてくると考えています。このあたりも踏まえて意見交換ができればと思うところもありますので、部活動の地域移行についても、協議テーマの一つとして押さえたいと思いますがどうでしょうか。

北川課長

それでは、教育委員会の案としては、給食施設の改善と給食費無償化、部活動の地域移行、給付型奨学金の基準見直しの3つを押さえたいと思います。後日、事務局の方で市長と協議テーマについて協議したいと思います。

教育長

市長と協議テーマについて調整ができましたらお知らせしたいと思います。

それでは次に市議会12月定例会での一般質問等について報告をお願いします。

北川課長

それでは、市議会 12 月定例会での教育委員会関係について、配布資料に沿って報告いたします。

【議案質疑】

・網本議員から、令和 6 年度五島市一般会計補正予算案の米価高騰対策学校給食費支援事業について、補助期間終了後の計画は。の質問があり、今回の支援策は年度途中における米価格の高騰に対する臨時的な物価高騰対策になります。子どもたちの成長に欠かせない主食である米は確実に確保する必要があるため、今年度は臨時的に支援しますが、令和 7 年度以降今年度と同様に想定外の物価高騰が発生した場合には、対応を考えたいと思います。と答弁しております。

【一般質問】

・草野議員から、いじめ、不登校の実態について、五島市の実態と対応状況、不登校対策に対する財政措置について質問があり、それぞれ配布資料に記載のとおり答弁しております。

・野茂議員から、奈留地区教職員住宅の改修計画について、改修計画の有無について、入居者からの要望の聴取について質問があり、それぞれ配布資料に記載のとおり答弁しております。

・江川議員から、学校給食について、給食費へ補助する考えは、給食費について今後基準額を設けたうえで、一部補助する考えはないか質問があり、配布資料に記載のとおり答弁しております。

・丸田議員から、これまで一般質問した内容への対応状況について 3 つ質問がありました。新図書館の開館日拡大について、奈留高等学校における学校給食の実施について、小中学校への聴講生制度導入についてになりますが、それぞれ配布資料に記載のとおり答弁しております。

【教育福祉委員会・予算委員会教育福祉分科会】

・補正予算

教師用教科書及び指導書の購入、米価格高騰に伴う学校給食費の値上げ分への助成である米価高騰対策学校給食費支援事業費補助金について承認をいただいております。

教育長

ただ今説明がありましたが、質問ご意見等はありませんか。

大島委員

修学旅行についてですが、最近は物価高騰の影響もあり旅行費が高くなっていると聞いています。来年、西海国立公園が 70 周年を迎えますが、

ふるさと学習の観点から、島外に旅行に行くことは最近では家族旅行で行く人が多いと思いますので、修学旅行を五島を知る機会として捉えても良いかと思うところがあります。意外と上五島も含めて五島のことを知らない子どもが多いと思います。将来、五島を出た時に五島とはこういう所だと説明できるように、修学旅行で無理に島外にでなくても1泊2日とかで島内で学習することも可能ではないかと考えます。そうすることで、旅行費の保護者負担の軽減やふるさと学習の強化にもつながると思っていますがどうでしょうか。

教育長

コロナ禍の時に島外には行けないということで、五島市内、上五島に行ったこともあります。事務局にもその当時担当だった先生がいますが、行ってみてどうでしたか。

塩竈課長

岐宿中学校の時に島内で修学旅行をした経験がありますが、おっしゃるように子どもたちは、五島のホテルに泊まったこともなく、岐宿という町についても知る機会も少ないという状況でした。ただし、ふるさと学習で言えば、現在ジオパークのことなど以前に比べて校外学習などで取り組んでいる状況です。学びを深めるためにはふるさと学習をもっと強化する必要があると考えています。

宮本係長

上五島と下五島に1泊ずつの修学旅行を経験しました。上五島では教会を巡るような形で、下五島の方は魚釣りとかピザ窯とかの体験学習を実施しました。良い経験を積むことができたものと思っています。一方で、平和学習とか、いろいろな意味で長崎や福岡、熊本へ行った方が良いということもあるので、学校の教育方針であったりとか、教育の中で一番大切にしているところを明確にして、修学旅行を考えるべきであると思っています。一律にふるさと教育のために修学旅行を島内で行うとはならないと思いますので、各学校に選択の余地は残したいと考えています。

教育長

教育委員会としても、ただいま提案があったようなことは重要なことだと感じています。各学校に対して修学旅行を島内で行うようにと強制は考えていませんが、選択肢の一つとしては提案できると思います。子どもたちにとっては遊園地などで遊びたいということもあるかと思いますが、今の時代は家族旅行で行ける時代ですので、その辺りも含めて校長会等で説明できたらと思います。

他にありませんか。

それでは事務局からの連絡事項をお願いします。教育総務課からお願いします。

北川課長

- ・12月13日、盈進小学校の今後のあり方についての保護者懇談会を開催しました。参加者は保護者19名（対象世帯：31世帯）で、内容は、スクールバスのコース案の説明と統合時期について協議しました。保護者からの意見として、統合時期については、富江小学校保護者と協議の場を持ちたい。統合に向けた準備期間が短いなどがありました。
- ・19日、五島市奨学生審議委員会（次年度の予約募集）を開催しました。次年度の貸与型奨学金について、申請者3名（大学1名、高校2名）のうち決定者2名（大学1名、高校1名）となりました。高校の1名は学業基準が未達成でした。
- ・26日、令和6年度子ども読書リーダー養成講座（県教育庁生涯学習課事業）があります。対象は、小学4、5、6年生、中学1、2、3年生：計21名で、8月に実施した同養成講座の第4回講座になります。
- ・27日、ミライ on 図書館電子書籍サービス体験会（県教育庁生涯学習課事業）があります。講座内容は、ミライ on 図書館のサービス、アプリを知ろう、電子書籍の操作方法、アプリ機能の体験となっています。
- ・1月4日、令和7年はたちの集いを文化会館で開催予定です。対象者は、日本語学校生徒11人を含めて315人となっています。
- ・22日、少年センター補導員連絡協議会研修会を開催予定です。五島警察署職員を講師に迎え、「少年の非行防止に係る補導員としての関わり方」について講義を予定しています。

教育長

次に、学校教育課からお願いします。

塩竈課長

学校教育課からは1月の行事予定の主なものについて説明します。

- ・12月24日、各学校で第2学期終業式が行われます。
- ・1月8日、3学期の始業式になります。
- ・10日、1月定例校長会を開催します。
- ・15日、学校保健会養護教諭・保健主事合同研修会を開催します。
- ・17日、第5回五島地区初任者研修会を開催します。
- ・18日、五島市教育会講演会が開催されます。
- ・24日、おはなし交流会を開催します。
- ・29日、初任研実施運営委員会を開催します。
- ・31日、五島市・新上五島町校長会合同研究大会が開催されます。
- ・五島市イングリッシュスピーチコンテスト、創造アイデアロボットコンテスト長崎県大会結果は資料に記載のとおりです。ロボコンでは、4校の6チームが出場しました。動画作品部門で福江中のチームが全国大会へ出場することとなりました。

教育長

次に各分室から何かあればお願いします。

池本課長補佐

各支所行事予定を一覧表により報告。

教育長

各課等の報告がありましたが、何か質問等ありましたらお願いします。

大島委員

1月24日のおはなし交流会についてですが、あの場ではお互いが胸の内を話して終わりみたいな感じになっているので、専門家の方に事例などを紹介してもらったりしたら、もっと気付きもあり有意義になるのではと思っています。参加してみても感想です。

塩竈課長

担当に伝えて検討したいと思います。

教育長

他にないでしょうか。

他になければ、これもちまして、教育委員会12月定例会を終了いたします。

(午後3時37分)